2026 年 10 月 30 日
株式会社三菱 UFJ 銀行

株式会社丸井グループと「サステナビリティ・リンク・ローン」を成約

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員　大澤 正和（おおさわ まさかず））は、株式会社丸井グループ（代表取締役社長　青井 浩（あおい ひろし））との間で、ローン・マーケット・アソシエーション[1]等が定めたサステナビリティ・リンク・ローン原則に即した、「サステナビリティ・リンク・ローン」によるタームローン契約（以下、本ローン）を締結いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローン原則では、借り手のサステナビリティ目標と連携したサステナビリティ・パフォーマンスターゲット（以下、SPT）を設定し、金利などの貸付条件と SPT に対する借り手のパフォーマンスを連動させ、SPT 達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指します。

丸井グループは、経営理念に基づき、「すべての人が『しあわせ』を感じられるインクルーシブな社会を共に創る」ことをミッションとしています。2019 年に策定した「丸井グループビジョン 2050」では、サステナビリティと Well-being に関わる目標を「インパクト」として定義し、現在では、「将来世代の未来を共に創る」「一人ひとりの『好き』が駆動する経済を創る」「働く人の『フロー』を生み出す社会を創る」の 3 つの目標を達成すべく、主要な取り組み項目を中期経営計画の主要 KPI として設定しています。

本ローンにおいては、以下の KPI／SPT を設定しています。KPI／SPT である CDP 気候変動スコアは、CDP が実施する気候変動に関する情報開示・評価に基づく指標であり、企業の気候変動への取り組みを客観的に評価する指標として国際的に広く活用されています。三菱 UFJ 銀行では、こうした客観性・透明性を有する CDP 気候変動スコアを、サステナビリティ・リンク・ローンにおける重要な指標と位置付けています。また、丸井グループでは、CDP 気候変動スコアを、気候変動への取り組みや情報開示を継続的に充実させていくうえでの重要な指標の一つと捉え、その活用を通じて、さらなる取り組みの推進につなげています。

【本ローンの概要】

契約締結日	2026 年 9 月 30 日
貸付人	株式会社三菱 UFJ 銀行
組成金額	50 億円

KPI：CDP 気候変動スコア　（CDP スコア統合後は統合後のスコア）
SPT：達成判定までの期間にわたり CDP 気候変動スコア A-以上を維持

また、本ローンでは、DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社より、サステナビリティ・リンク・ローン原則への準拠、設定した SPT の合理性について第三者意見を取得しています。

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」

を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまのESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

[1] 欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会。英国に本拠地を置き、欧州・中東を中心に 65 ヶ国以上約 800 機関が加盟。

以　上